

理想科学の環境保全活動の全体像

理想科学は、製品の開発・設計、生産段階はもちろん、お客様先が製品をご使用になる際の環境負荷低減、製品リサイクルにいたるまで、さまざまな面で環境・品質への配慮を実施しています。

製品のライフサイクルを見据えた開発を行うことにより、お客様先の環境負荷低減に貢献するよう努めています。

- 研究開発の基本姿勢 (P20)
- 製品への環境配慮の実施プロセス (P20)
- グリーン調達 (P22)
- RoHS指令への対応 (P22)



TOPICS

「環境配慮設計責任者」の設置 (P21)

2006年6月、「環境配慮設計責任者」の設置・運用を開始しました。製品の性能や安全面のほか、環境配慮への要求・目標が個々の製品開発に確実に落とし込まれているか、取り組みのPDCAが確実に回っているか、を組織的に管理することで、製品における環境配慮をより一層徹底する体制を整えました。

開発・設計 (P20-22)

生産 (P23-25)

省エネルギー活動や廃棄物排出量削減などの活動を推進しています。

- 省エネルギーへの取り組み (P23)
- 廃棄物の削減 (P24)
- 水の使用 (P24)
- 化学物質の管理 (P25)
- PRTR指定化学物質への対応 (P25)



TOPICS

加工工程の改善による品質向上、省エネルギーへの取り組み (P29)

当社の主力製品である印刷機は、約1,500点の部品から成り立っており、それぞれの部品は複数の加工を経て製品化されます。部品加工時の不良は、製品の不良のほか、資源やエネルギーのロスに直結することから、加工工程の改善、効率化に取り組むことで省資源・省エネルギーにつなげています。

販売・物流時のCO₂排出量や廃棄物の低減に取り組んでいます。

- 改正省エネ法への取り組み (P26)
- モーダルシフトの取り組み (P26)
- 共同配送の取り組み (P27)
- 低公害車の導入 (P27)
- 使い捨て梱包材の使用削減 (P27)



TOPICS

在庫圧縮を実現する生産物流体制の構築～「VCMプロジェクト」(P29)

適正な生産物流体制の構築は、過剰在庫の削減、不動在庫除却の防止などを実現し、ひいては省資源・省エネルギー（地球温暖化防止）への貢献につながります。無駄のない生産物流体制の構築を目的に2004年8月に発足した「VCMプロジェクト」によって整備された新たな生産物流体制が、2006年9月より開始されました。

販売・物流 (P26-27)

回収・リユース・ リサイクル RISO (P28-29)

使用済み印刷機や使用済みインクボトルの回収・リサイクルシステムを整備し、循環型社会の構築に取り組んでいます。

- 使用済み製品のリサイクル (P28)
- ケミカルリサイクルへの取り組み (P29)



TOPICS

デジタル印刷機のリサイクル (P28)

「使用済みの製品は廃棄物ではなく、貴重な資源である」との考えのもと、製品のリサイクルに積極的に取り組んでいます。市場から回収されたデジタル印刷機は、分解、部品の選別、洗浄・清掃、品質チェックなどを経て、リサイクル製品として出荷しています。2006年度の部品のリユース率は重量比で91%となっています。